

学者家庭で育った母からの「支え」

富田 賢
ティーシーコンサルティング社長

私の母は、七歳の時に父親が亡くなったため、金沢大学の物理学の教授をしていた二十歳近く年上の兄の家庭で育った人です。学者の家庭で育ったため、私の勉強の環境を整えることには熱心だったと思います。

私自身は、石川県鶴来町（現在は市町村合併により白山市）という小さな町の出身なのですが、電車で一時間以上かけて通学しなければならぬ、金沢大学附属中学への進学を母がアレンジして、私は中学受験をして、中学から金沢に通いました。

とても印象に残っているのは、母は、私が夜勉強をしていると、夜遅くなくても、私が勉強をしている間は、自分も寝ずに、茶の間で待っていたことです。

茶道の先生をしていて、自宅でもお茶会を開いていた母は、子供の頃、私が勉強して眠いと言っていると、コーヒの代わりにお抹茶を立ててくれました。それも印象に残っています。

私が大学、大学院へ進み、大学教員を経て、コンサルティング会社の社長になっている

のは、そういった母の「支え」があったからだと思います。

子供の頃というよりは、社会人になってからのほうが、私は、転職などで、母には心配と苦勞をかけたのではないのでしょうか。

母は割り切りのよい性格なのですが、私はその正反対に、くよくよしがちな性格です。電話で相談するたびに、前向きに考えることや割り切ること、心配しなくてもよいことなどを言われて、私は今三十九歳ですが、この歳になっても励まされています。

世間の方々から見ても、私が前向きで、割り切りがよいように見えているとしたら、それも、母の「支え」によるものと思います。

母は、父と結婚した当時、東京、そしてニューヨークで過ごしています。都会好きの母は、地方で長く過ごしたことが少し残念だったようです。

これからは、私が東京にいますので、東京に父とともに、時々、東京に来てもらうことが親孝行になるかなと思っています。母には、元気で、ともかく長生きしてほしいです。

そして、私自身は、学者家庭で育った母の考えの枠組みにとらわれることなく、自分のオリジナルな価値を大切にして、幸せな人生を送ることを目指していきたいと思っています。それが、母が望んでいることだと思いますので……。

2章 わが母は故郷なり

あらためていま母を想うV ありがとう、お母さん

あらためていま母を想うV

相沢英之 宇敷珠美
朝倉匡子 牛久保洋次
浅田美明 大黒 昭
阿部和義 小長啓一
泉 忠司 坂りん
市川覚 梶川雅達
一瀬邦夫 勝島和歌子
伊東俊浩 加藤育美
猪口 勇 加藤丈夫
今田美奈子 加藤道彦
植田とむる 金子弘子

鎌田恭幸 日下部守昭
神谷光徳 伍 芳
神渡良平 小林俊介
川崎孝夫 阪田陽子
河内家勲水丸 佐藤美佐子
川西 修 佐久間レイ
北原照久 櫻井秀勲
川畑秀雄 清水初巳

「親を考える会」代表
VAV倶楽部会長
近藤昌平 編

おふくろ、母ちゃん、ママ——
あなたのおかげで今、
私はここにいます。

各界トップリーダーが綴った
心にしみるエッセイ115篇
祥伝社



森ビル株式会社
特別顧問
渡邊 五郎



大和ハウス工業株式会社
代表取締役会長・CEO
樋口 武男